

「第1回日本オートソモレキュラー医学 会総会」

令和元年7月20日～21日に開催

柳澤厚生

国際オートソモレキュラー医学会 会長
スピッククリニック 名誉院長



図1 第1回日本オートソモレキュラー医学会イメージポスター



写真2 15人の講師一覧

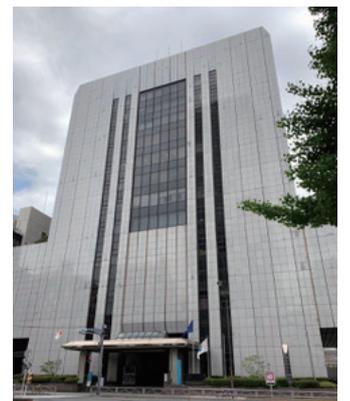


写真1 学会会場となる笹川記念会館

令和元年7月20～21日に日本オートソモレキュラー医学会第1回総会が東京で開催される運びとなりました。昨年(2018年)4月に東京で開催された国際オートソモレキュラー医学会第47回世界大会では2000名を超えるヘルスケア・プロフェッショナルが出席し、本医学会が提唱する治療や予防のレベルまで高めた栄養療法『オートソモレキュラー医学』への医療従事者のみならず多くの国民の期待と関心が実感できる大会となりました。

この国際学会に続く日本オートソモレキュラー医学会旗揚げの第1回総会の会頭を私が務めます(図1)。

■これまでの学会イメージ を変える運営方針

新たに発信する日本オートソモレキュラー医学会の運営について理事会で話し合いました。何よりも、従来の医学会の慣習に捕らわれずリアルであり、参加者の期待を越える学会にすることで一致しました。そし

柳澤厚生 (やなぎさわ あつお) 杏林大学医学部卒、同大学大学院修了。医学博士。米国ジェファーソン医科大学リサーチフェロー、杏林大学医学部内科助教授、杏林大学保健学部救急救命学専攻教授を経て、2008年より国際統合医療教育センター所長。2015年～2017年に事業構想大学院大学研究所客員教授。

また、神奈川県鎌倉市にスピッククリニックを開設、現スピッククリニック名誉院長。点滴療法研究会会長。高濃度ビタミンC点滴療法をはじめとするさまざまな点滴療法を日本に導入。米国先端治療会議認定キレーション療法専門医 (CCT)、アメリカ心臓病学会特別正会員 (FACC)、米国オゾン療法学会会員。2009年第10回国際統合医学会会頭。2012年より国際オーソモレキュラー医学会会長 (カナダ)。2011年国際オーソモレキュラー医学会殿堂入り (カナダ)、2014年アントワープ・ベシヤン賞 (フランス)、パールメーカー賞 (アメリカ)、世界神経療法会議最優秀アカデミー会員 (エクアドル) を授与される。2018年に東京で開催された国際オーソモレキュラー医学会第47回世界大会会長。著書に『ビタミンCがガン細胞を殺す』(角川SSC)、『超高濃度ビタミンC点滴療法ハンドブック』(角川SSC)、『グルタチオン点滴でパーキンソン病を治す』(GB)、『つらくないがん治療:高濃度ビタミンC点滴療法』(GB)、『点滴でアンチエイジング』(主婦の友) などがある。

7月20日(土)

13:00~13:10	開会の挨拶 柳澤厚生 (日本オーソモレキュラー医学会 代表理事 / 国際オーソモレキュラー医学会 会長)
13:10~13:40	提言「オーソモレキュラー医学未来構想」 柳澤厚生 (日本オーソモレキュラー医学会 代表理事 / 国際オーソモレキュラー医学会 会長)
13:40~14:10	循環腫瘍細胞検査(CTC検査)とがん治療 喜多村 邦弘 (医療法人善和会 喜多村クリニック 院長)
14:10~14:40	歯科領域における水素の活用 辻 直樹 (医療法人社団医献会 辻クリニック 理事長)
15:20~15:50	アンチエイジング医療におけるホルモン・ペプチド療法 松山 淳 (医療法人社団松寿会 理事長 / 松山医院 院長 / 群馬統合医療センター センター長)
15:50~16:20	口腔と全身 Gatekeeperの責務とは 森永 宏喜 (森永歯科医院 院長)
16:20~16:50	アルツハイマー病の個別化治療の臨床 今野 裕之 (日本ブレインケア・認知症予防研究所 所長)
16:50~17:20	精神科臨床における栄養精神医学の重要性 奥平 智之 (日本栄養精神医学研究会 会長 / 医療法人山口病院 精神科部長)
18:00~20:00	懇親会

7月21日(日)

10:00~10:30	整形外科でのオーソモレキュラー療法の実践 大友 通明 (医療法人社団二袖会 理事長)
10:30~11:00	健康と機能性食品(サプリメント)の最新動向 矢澤 一良 (早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 / 産科科学総合研究所ヘルスフード科学部門 部門長)
11:00~11:30	腸内フローラ移植の臨床 田中 善 (医療法人仁善会 田中クリニック 理事長)
11:30~12:00	腸内環境アップデート～基礎と臨床での実際～ 松村 浩道 (スピッククリニック 院長)
12:00~13:00	ランチオンセミナー
14:00~14:30	健康に生きるための食を求めて 宗田 哲男 (宗田マタニティクリニック 院長)
14:30~15:00	ブレインヘルスと神経栄養因子 石黒 伸 (アグロメディカルクリニック 院長 / HARU JUICE 総監修医)
15:10~15:40	医療大麻(CBDオイル)の新展開 飯塚 浩 (メディカルストレスケア飯塚クリニック 院長)
15:40~16:10	オーソモレキュラー療法の歴史と今後の可能性 溝口 徹 (医療法人回生会 新富溝クリニック 院長)
16:10~16:20	閉会の挨拶 柳澤厚生 (日本オーソモレキュラー医学会 代表理事 / 国際オーソモレキュラー医学会 会長)
17:00	閉場

表1 学会プログラム

会 期	2019年7月20日(土)	13:00~18:00 講演・展示時間	18:00~20:00 懇親会		
	21日(日)	9:00~17:00 講演・展示時間			
会 場	笹川記念会館 (〒108-0073 東京都港区三田3-12-12)				
参加費		早期割(2019年5月19日まで)	通常(2019年5月20日以降)		
		会員	一般	会員	一般
	医師・歯科医師・獣医師	¥15,000	¥20,000	¥20,000	¥25,000
	ヘルスケア従事者	¥10,000	¥15,000	¥12,000	¥17,000
	学生	¥5,000			

*早期割引は5月19日までのお申し込みで適用されます。
*懇親会の参加費は別途8,000円(飲食代含む)となります。

表2 学会の概要



学会QRコード

参考…
日本オーソモレキュラー医学会ホームページ
<https://som-japan.org/>

て第1回総会の運営方針が次のように決まりました。
(1)進化し続ける最新のオーソモレキュラー医学の教育的な講演プログラムを組む
従来の医学会では大学の研究的な発表が中心である。しかし、オーソモレキュラー医学はピープルズ・メディスン(市民の医学: people's medicine)であり、開業医の診療や市民の生活の中から生まれ、広がった医学である。その後アカデミアでエビデンスを構築するというポトムアップである。これはアカデミア

のエビデンスから診療現場にトップダウンではない。第1回総会は研究発表の場ではなく、臨床現場や市民生活の中で実践的に活用できる具体的な情報を伝える場であり、講師は現場で最新のオーソモレキュラー医学を実践する日本のリーダーを招く。特に若手の斬新なリーダーに期待する。
(2)ヘルスケア・プロフェッションから研究者、健康に関心のある市民を集結する
オーソモレキュラー医学を伝えるうえで、ヘルスケア・プロフェッショナルから研究者、健康に関心のある市民を集結する

ヨナルばかりでなく、国民との間にいる方々を学会に招き入れることで、国民への普及の速度を早める。
■学会スローガン「栄養医療がつくる健康な未来」
こうして第1回日本オーソモレキュラー医学会を令和元年7月に東京都港区の笹川記念会館で開催することになりました(写真1)。
学会スローガンを「栄養医療がつくる健康な未来」としました。そして日本をリードする15人のエキスパートによる講演プログラムを組み合わせ

■おわりに

オーソモレキュラー医学とは「体の中に自然に存在する物質(ビタミン、ミネラル、アミノ酸など)を分子レベルで最適な量を投与して病気の予防と治療をする」です。日本で初めての日本オーソモレキュラー医学会総会にぜひご参加いただきたく、ご案内申し上げます。
2)